

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神戸スバルが丘保育専門学校
設置者名	学校法人スバルが丘岸本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	1. 省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専修学校専門課程	保育学科	夜・通信	1710	160	
	保育学科	夜・通信	1710	135	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて「実務経験のある教員等の授業科目」として公開
--------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸スバルが丘保育専門学校
設置者名	学校法人スバルが丘岸本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物としてスバルが丘岸本学園事務局にて「理事・評議員」として公開
-----------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	兵庫県県会議員	令和4年9月1日 ～ 令和8年8月31日	学校運営への助言
非常勤	神戸市市議会議員	令和4年9月1日 ～ 令和8年8月31日	学校運営への助言
非常勤	元神戸第一高等学校 事務長	令和4年9月1日 ～ 令和8年8月31日	学校運営への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸スバルが丘保育専門学校
設置者名	学校法人スバルが丘岸本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>令和6年度は開校初年度として、令和6年度採用職員や外部経験者(学識経験者)などと協議し、授業科目の選定・決定した授業科目の授業計画を立案し、授業内容・教科書・参考書・成績評価方法などを定め授業概要(シラバス)としてまとめている。その後学生や関係者が閲覧可能学校共有サーバにて公開する。学生には授業概要を冊子にして生徒全員に配布する。また、各授業の最初にガイダンスとして、シラバスの内容を説明する。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://kobe-subarugaoka.com">http://kobe-subarugaoka.com</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲の把握、試験、レポートなどを適切な方法により、5段階で(A, B, C, D, E)で評価しA, B, C, Dを合格Eを不合格とする。</p> <p>また、状業の出欠確認を必ず行い、欠席が多い生徒には、レポート課題・補講を課し、一定の減点のうえで成績評価をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>h 各教科の成績(5段階評価、A, B, C, D, E)を A=3.0 B=2.0 C=1.0 D=0.0 として1単位当たりの点数を出して、成績表に記載する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学校便覧にて配布</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>課程修了の認定は、昼間部は学則第 22 条の(1)、夜間主コースは(2)の規定を満たした者とする。</p> <p>本校指定の出欠管理システムにより、日々の授業の出席管理を行い、卒業のための時数を満たしているか否かの確認を実施している。</p> <p>成績管理システムで成績管理を行い、全ての授業の成績が合格か否かの確認を実施している。</p> <p>理事ならびに教務、各担当教諭による卒業認定会議を年度末に開催し、適切に実施していることを確認する。</p> <p>卒業認定に関する各規定は他の規定とともに冊子にして生徒全員に配布する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生便覧に記載</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神戸スバルが丘保育専門学校
設置者名	学校法人スバルが丘岸本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物としてスバルが丘岸本学園事務局にて公開
収支計算書又は損益計算書	刊行物としてスバルが丘岸本学園事務局にて公開
財産目録	刊行物としてスバルが丘岸本学園事務局にて公開
事業報告書	刊行物としてスバルが丘岸本学園事務局にて公開
監事による監査報告（書）	刊行物としてスバルが丘岸本学園事務局にて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

昼間コース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	保育学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	101 単位	35	59	6	0	1
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		6人	0人	8人	3人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務部・担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・成績評価の方法を定めてシラバスをとして周知する。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績はA, B, C, D, Eの5段階とし、A, B, C, Dを合格、Eを不合格とする。 評価は学習態度、理解度等を総合して行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級条件 進級に必要な年間授業出席時数(800時間)を満たし、履修した授業において成績がすべて合格(D以上)であること。 卒業条件 2年間で1600時間以上、授業に出席し、履修した授業において成績がすべて合格(D以上)であること。
学修支援等
（概要） 通常授業では扱わない科目の資格・検定試験の取得を奨励し放課後補習等で支援するパソコン・タブレット端末(1人1台貸与)を活用したIT技術の修得を目指す。

--

夜間主コース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	保育学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	101 単位	35	59	6	0	1
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		0人	0人	8人	3人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務部・担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・成績評価の方法を定めてシラバスをとって周知する。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は A, B, C, D, E の 5 段階とし、A, B, C, D を合格、E を不合格とする。 評価は学習態度、理解度等を総合して行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級条件 進級に必要な年間授業出席時数(800 時間)を満たし、履修した授業において成績がすべて合格(D以上)であること。 卒業条件 2 年間で 1600 時間以上、授業に出席し、履修した授業において成績がすべて合格(D以上)であること 3.
学修支援等
（概要） 通常授業では扱わない科目の資格・検定試験の取得を奨励し放課後補習等で支援する パソコン・タブレット端末(1 人 1 台貸与)を活用した I T 技術の修得を目指す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
開校前のため卒業生はなし (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
開校前 人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保育学科	150,000 円	700,000 円	300,000 円	
昼間・夜間主 とも	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
http://kobe-subarugaoka.com にて公表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
評価項目 教育課程について 学校生活全般について 進路指導について その他 構成 委員の数 5名 選出区分 在校生保護者代表 高等学校代表 幼稚園代表 保育園代表 地域住民代表		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
保護者会	R6.4.1~R8.3.31	保護者代表
高等学校	R6.4.1~R8.3.31	高等学校代表
幼稚園	R6.4.1~R8.3.31	幼稚園代表
保育園	R6.4.1~R8.3.31	保育園代表
町内会	R6.4.1~R8.3.31	地域住民代表
学校関係者評価結果の公表方法		
http://kobe-subarugaoka.com にて公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

http://kobe-subarugaoka.com
-----------------------------